

小中合同保護者説明会を開催しました

29 年度から「広田小学校 6 年生が広田中学校敷地内で学習する」ことに関する小中合同保護者説明会を 2 月 5 日（金）に開催しました。佐世保市教育委員会にも出席していただき、小中連携の基本的な方向性などの説明がありましたので質疑応答も含めその概要をお知らせいたします。

1 基本的な方向性について

平成 29 年 4 月から「小中一貫型小学校・中学校（仮称）」（それぞれに校長を配置）としての小中一貫教育をめざします。

- ① 児童数増に伴う小学校施設の飽和状態解消のために小 6 児童の教育を中学校敷地で行います。
- ② 修業年限
 - ・ これまでどおり小学校 6 か年、中学校 3 か年の教育の在り方を維持します。
 - ・ 小 6 修了時に卒業式、中 1 進学時に入学式を行います。
- ③ 小 6 児童は日常的に中学校敷地内で学習及び生活を行うことが基本となることから、小中間の乗り入れ授業や学校行事等について小中双方向で積極的に関わりを持ちながら指導していきます。
 - ・ **具体的な乗り入れ授業の教科や学校行事の実施については今後、専門部会で案を検討します。**

2 施設について

(1) 増設について

- 小 6 児童の教室等については、中学校校舎東側に増設します。
 - ・ 8 教室分で建設を予定しています。（理科室・トイレ含む。）
 - ・ 小中学校教職員の綿密な連携を図るため、職員室は小中合同とする方向で検討しています。

(2) 小学校校舎における空き教室の活用について

- ・ 6 年生が中学校へ移ることによって生じる小学校の空き教室については、特別教室、特別支援学級教室、少人数学習指導教室等への転用を協議していきます。

(3) 運用について

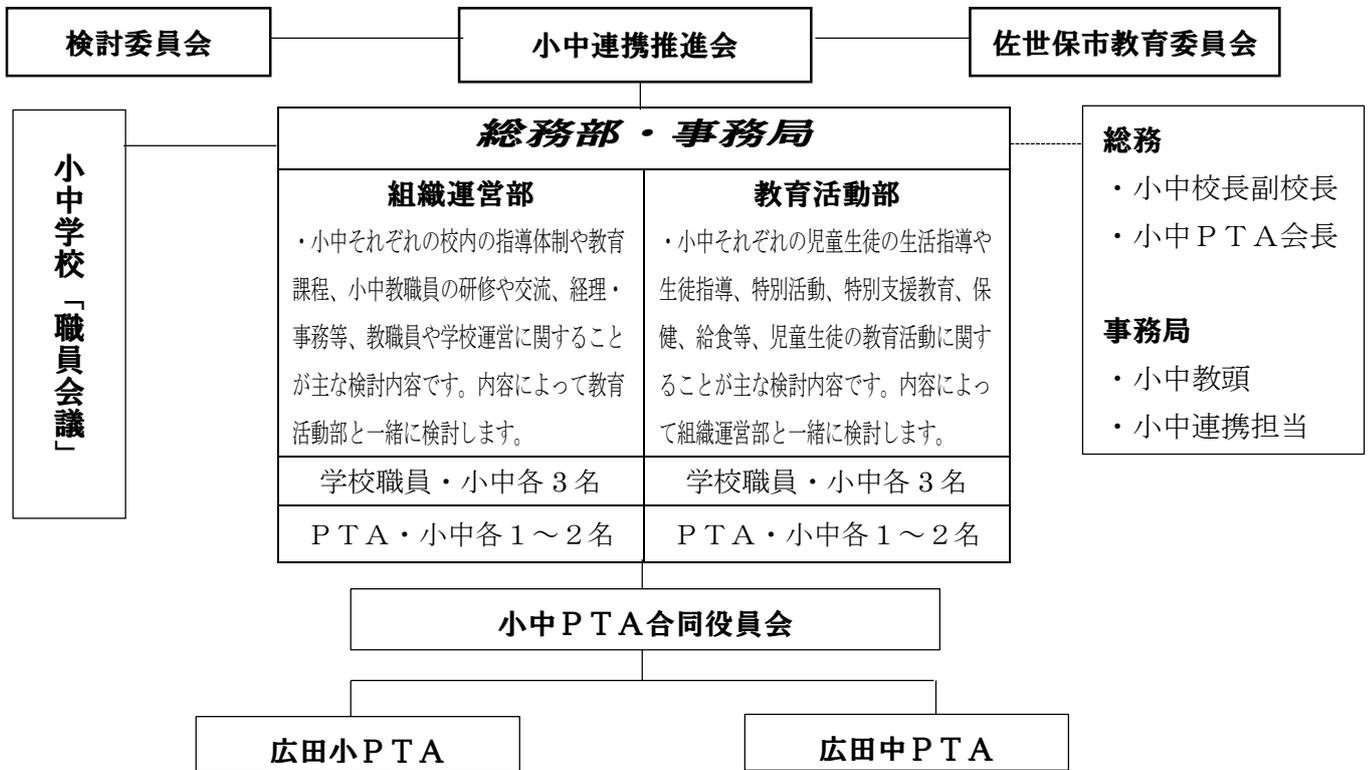
- 給食配膳室
 - ・ 小 6 児童の給食は給食センターから中学校へ配送する方向で検討を行います。
- 特別教室の利用
 - ・ 理科については、増設の理科室を小 6 専用とします。
 - ・ 図工室、音楽室、パソコン室、家庭科室、運動場、体育館等については小中併用を基本とします。
- 保健室
 - ・ 小 6 児童の対応については、中学校養護教諭で担当します。

3 今後検討を要することが考えられる事項について

- (1) 組織運営に関すること（教育課程、日課、学校行事、勤務時間、校務分掌等）
- (2) 授業に関すること（双方向乗り入れ授業等）
- (3) 経理・事務に関すること
- (4) 小中教職員の研修及び交流に関すること
- (5) 生活指導・生徒指導に関すること
- (6) 特別活動に関すること
- (7) 特別支援教育に関すること
- (8) 保健・体育・給食に関すること
- (9) 施設に関すること
- (10) P T A組織及び業務に関すること

※ 内容に応じてP T Aや地域の意見・意向を聴取しながら検討していきます。

小中連携推進に関する専門部会等の組織体制



今後の見通しについて

平成27年度	2月中旬	教育活動等の具体案について組織運営部、教育活動部で原案を作成
	2月下旬	小中学校の職員会議、小中P T A合同役員会で原案説明・検討
	3月上旬	職員会議、合同役員会で検討した案について市教委と協議、確認
	3月中旬	教育活動の具体案等について「小中連携だより」で家庭・地域に配付
平成28年度	4月上旬	新年度体制の確認。9月、12月までの検討事項の確認
	6月中旬	中学校敷地内6年校舎 杭工事起工
	8月	中学校敷地内6年校舎 建築工事起工
	29年2月末	中学校敷地内6年校舎 建築工事竣工

説明会での質疑応答・ご意見の内容

- Q 1. 中学校には8教室分の敷地に、理科室、トイレ、6年生6クラス分の教室ということですが、今後教室が足りなくなるということはないのですか？**
- A. 6年生は1クラス35人で編成するので、210人までは6クラスです。
現4年生は170名なので5クラスの予定ですが、今後新たに建った住宅への転入が多くなると、どの学年かが増えて学級増となる可能性は考えられます。そのときは市教委に増設を検討していたかなければならないかと思います。
- Q 2. 新しくできる校舎のトイレの数は足りませんか？6年生棟のトイレしか使えないのですか？**
- A. 女子は6つ、男子は小が4つ、大が3つの予定です。体育館横の校舎のトイレも使用できますので、足りるのではないかと思います。(市教委)
- Q 3. 設計図を見ると6年生棟への出入り口は一つしかありませんが、災害等での避難する時が心配になります。非常階段等があればよいと思いますが、どうでしょうか？**
- A. 学校からもそのような要望があり検討しているところです。(市教委)
- Q 4. 中学校の新校舎で小学校の集会等を映像で見ることや放送を聞くということはできますか？**
- A. 予算のこともありますが、技術的に可能なのかを含め検討していきたいと思います。(市教委)
- Q 5. 初年度に中学校に行く現4年生、その時、小学校舎で最高学年になる現3年生にとっては一度しかない大事な時期です。大まかな見通しを示してほしいと思います。45分の授業時間や制服はどうなる見通しですか？**
- A. 前例のないことなので予想がつかないこともあると思いますが、最善を尽くしてよい形にしていかなければならないと思います。まずは、専門部を発足して、組織運営部、教育活動部で予想される問題等を洗い出して、話し合いをしていきたいと思います。
- Q 6. 6年生が中学校に行くと空き教室ができますが、トイレや水道の増設は考えていますか？**
- A. 空き教室には特別教室や少人数指導教室などを考えています。検討はしないといけませんが6年生が移る分だけ、トイレ、水道の使用の密度は減ることにはなると思っています。(市教委)
- Q 7. 小中一貫を推進すると業務も増えると思いますが、先生の増員を考えていますか？**
- A. 市教委としては増員を強く県教委にお願いをしているところです。(市教委)
- Q 8. 小中一貫型小学校・中学校ということですが、6年生をどのようにとらえればよいのですか？**
- A. 大きな考えとしては、小学校6年間、中学校3年間ということは変わりません。学習内容も国で定められた6年生の内容は変わりません。(市教委)
- Q 9. 小中一貫教育をどのくらい続けていくのですか？**
- A. 取り組んでみて教育効果が高くなれば続けていくことになるだろうと思います。しかし、子どもの数が減って、20年後、30年後総括して振り返ってみた時、そこで考えることがあるだろうと思います。今現在、いつまでという結論は出さない方がよいのではないかと思います。(市教委)

Q10. 広田地区の宅地開発を制限することはできないのですか？

A. 市街化調整区域として住宅開発を緩和していましたが、現在は広田地区では新たな宅地開発申請はストップしています。(市教委)

Q11. 子どもたちは上級生の姿を見て最高学年になる心構えをつくっていきます。現3年生については、4年生になった時から準備をしないといけないのではないかと思いますのですがどうでしょうか。

A. そのような観点から28年度の4月からしなければならないことは何かや9月までに準備しておくべきことは何かなど、期限を考えながら専門部で具体的な取組を検討していきたいと考えています。

Q12. 子どもたちは6年生になったら縦割り交流などでリーダーをしたいなどと思いついていて、中学校に行ってもリーダーとして力を発揮できる場はできるのでしょうか？

A. 小中学校間の距離や安全面を考慮しながら、どのようなことがどれくらいできるのかを検討したいと考えています。

Q13. 6年生がきても広田中のこれまでのよさを守り続けてほしいし交流もしてほしいと思います。中学生のメリットとしてどういうことがあるのかを教えてください。

A. 広田中は1～3年生までとても仲がいいです。これは一小・一中という広田地区の特性でもあると思います。だから中学生は6年生が来ることを楽しみにしています。6年生が来たからといって中学生が崩れるということはありません。交流も工夫しながら6年生の出番を作っていきたいと思っています。やるからには、メリットを最大限に生かすという思いで学校づくりをしていきます。

Q14. 小6の給食は給食センターから配送するということですが、給食費はどうなりますか？

A. 小学生の摂取エネルギー等によって給食の分量が決まっています。給食費は食材の分量に合わせた額になるので小学校と同額になると予想しています。(市教委)

Q15. 6年生のPTA会費はどうなりますか？活動や役員はどうなるのでしょうか？

A. 29年度はこのままの形になるのではないかと考えています。29年度は様々な新しい取組が出てくると思われるので、そのままにできる場所はそのまま様子を見て、必要に応じて変えていくのがよいのではないかと考えています。

《ご意見》

- 6年生が全員広田中学校に進学するわけではないので保護者の経済的負担等も考慮してほしい。
- 保護者ももっと関心を持つ必要があると思います。今後はみんなでよりよい方向に進むようにしないといけないと思います。

今後、随時「小中連携だより」を発行して、広田小・広田中の小中一貫教育についてお知らせをしていきます。ご意見やご質問、ご感想等は、下欄にご記入のうえ、お子様を通じて小学校、中学校へご提出願えれば幸いです。